

# 世界債券プラス型(CS)特別勘定 運用状況(2010年7月末現在)

## 運用方針

- 主に内外の高格付け債券ならびに高利回り債券を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、積極的に高い投資成果を目指します。
- 高格付け債券に50%程度、高利回り債券に50%程度投資することを基本とします。ただし、市況動向等を勘案して、当該配分を変更することがあります。
- 原則として為替ヘッジは行いません。
- 運用にあたっては、運用スタイルの分散や運用会社の固有リスクの分散を図るため、基本的に当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、各特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行っていきます。

## 資産内訳

|         | 金額(千円)  | 構成比    |
|---------|---------|--------|
| 投資信託    | 823,464 | 98.0%  |
| 現預金・その他 | 16,550  | 2.0%   |
| 合計      | 840,014 | 100.0% |

## 運用状況

2010年7月の世界債券市場は、Citigroup WGBI(現地通貨ベース)で0.57%の上昇となりました。米国10年国債の利回りは米国景気への懸念が高まったことや、FRB(米連邦準備制度理事会)議長が改めて米国の低金利政策の継続を表明したことなどから低下(価格は上昇)しました。一方欧州ではドイツの10年国債利回りは同国のIfo企業景況感指数が高水準に達したことや欧州金融機関のストレステスト公表を受け、上昇基調で推移しました。このような市場環境の中、当特別勘定は1.41%上昇しました。

現在、高格付け債券部分については、「グローバル・ボンド・ファンドVA」、高利回り債券部分については、「フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド」に投資しています。

7月は資金移動に合わせて、「フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド」の購入を行いました。

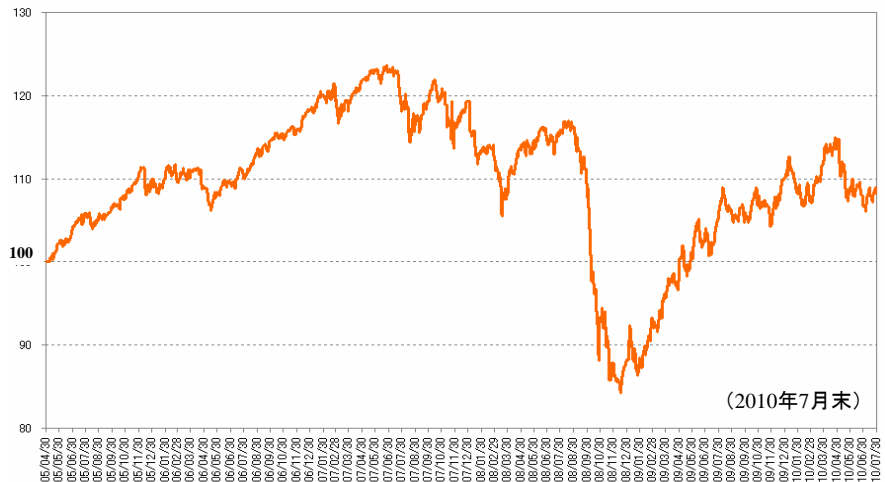
8月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

## ユニット・プライス騰落状況

| ユニット・プライス    | 過去1ヵ月  | 過去3ヵ月  | 過去6ヵ月  | 過去1年   | 過去3年   | 設定率    |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 108.27846117 | +1.41% | ▲5.63% | +0.12% | +1.97% | ▲8.76% | +8.28% |

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

## ユニット・プライスの推移(運用開始日:2005年5月1日)



## ポートフォリオの状況

### [基本配分]

|                 |
|-----------------|
| 高格付け債券<br>50%程度 |
| 高利回り債券<br>50%程度 |

### [組入れ投資信託(投資比率)]

|                                      |
|--------------------------------------|
| グローバル・ボンド・ファンドVA (48.9%) :p15上段      |
| フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド (49.1%) :p16上段 |
| 現預金・その他 (2.0%)                       |

(注)「p15上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

## ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/22ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。